

高萩市高浜スポーツ広場 蒸気機関車「9667号機」の解体方針に関する意見

意見件数：19件（うち、市内在住者からの意見2件）

番号	受領日	意見
1	2026/10/6	（要約）高萩市の蒸気機関車の解体決定に反対する。アスベスト除去や老朽化対策には、解体以外の方法もある。保存会の意見や補修要望を尊重し、関係者と再度協議した上で、安全を確保しながら保存する方針を再検討してほしい。
2	2026/10/6	（要約）大正時代製造の蒸気機関車9667号機は、鉄道文化財として歴史的価値が高く、高萩市だけのものではない。解体は元に戻せないため、保存継続を再検討し、市での保存が困難な場合は、移設費用負担を条件に引き取り希望者を公募してほしい。
3	2026/10/7	（要約）柏市・流山市で蒸気機関車の保存活動を行う立場から、貴重な鉄道文化遺産である9667号機の解体に反対する。移設も含めて保存方法を検討し、子どもから高齢者までが鉄道文化を学べる機会として、次世代へ継承してほしい。
4	2026/10/8	（要約）再塗装ボランティアへの参加を通じ、9667号機が人や地域をつなぐ役割を果たしてきたと指摘。解体は残念であり、他自治体の保存事例を参考に、アスベスト除去後も公園の一角で継続保存することを要望する。
5	2026/10/11	（要約）親子三代にわたり親しまれてきた蒸気機関車9667号機の解体は寂しく、保存継続を希望する。市と保存団体による費用分担やスポンサー募集、炭鉱資料館への移設など、さまざまな方法を検討し、関係者との協議を通じて保存の可能性を探ってほしい。
6	2026/10/12	（要約）解体に関する広報写真や説明に疑問を呈し、再塗装や汽笛の吹鳴などに尽力したボランティアへの敬意と感謝が欠けていると指摘。国鉄との譲渡契約や維持管理責任について議会で議論し、形式的でないパブリックコメントの実施を求める。
7	2026/10/13	（要約）蒸気機関車9667号機の解体前に、アスベスト対策や修繕費の根拠、現位置保存・移設など複数案を比較検討し、その内容を公表してほしい。保存会や民間の協力、寄付等で市の負担を抑え、教育や地域交流に活用する方法を改めて検討してほしい。
8	2026/10/13	（要約）蒸気機関車9667号機は、111年の歴史を持つ貴重な産業・文化遺産であり、解体は避けるべきである。アスベスト除去や修繕、移設による保存・活用を検討し、保存会と協議のうえ、地域振興や教育に生かす方針を再考してほしい。
9	2026/10/18	（要約）蒸気機関車9667号は、百年以上の歴史を持ち、市民に愛される貴重な宝物である。継続展示を求め、龍ヶ崎市やつくば市の事例を参考に、塩害対策として屋根の設置、移設、維持管理費の募金や清掃ボランティア、鉄道イベント開催などを提案する。
10	2026/10/17	（要約）幼少期に9667号機に親しみ、鉄道運転士を目指すきっかけとなった。保存会の整備活動への敬意を示し、解体方針や意見募集の進め方に疑問を呈する。貴重な学習資料・観光資源として保存継続を再検討し、困難な場合も最後に車体を公開してほしい。
11	2026/10/17	（要約）高萩市民として、歴史を伝える貴重な蒸気機関車9667号機を市のモニュメントとして残すことを希望する。移設を含む保存方法を議論するとともに、石綿含有調査報告書の開示や、石綿部分のみを除去する可能性について説明を求める。
12	2026/10/17	（要約）蒸気機関車9667号機の保存継続により、クラウドファンディング等で市の財政負担を軽減し、イベント開催や文化財指定を通じて地域活性化を図ることができる。他自治体の保存事例を参考に、解体方針を再考してほしい。
13	2026/10/17	（要約）蒸気機関車9667号機を、災害や有事における輸送インフラの補完的資産として捉え、解体計画の見直しを求める。アスベスト対策や維持費を考慮しつつ、国や専門技術を持つ民間への譲渡・移設も含め、保存・継承の可能性を検討してほしい。

14	2026/10/18	(要約) 大正4年製造の9667号機は、鉄道史や地域の記憶を伝える貴重な遺産であり、解体ではなく保存・活用を求める。車体の補修やアスベスト対策、維持・解体費用を客観的に検証し、安全な保存方法を慎重に検討すべきである。
15	2026/10/18	茨城出身の者です。周りから愛されていたものを捨てていく街は、街を愛す者を離れさせます。 (全文)
16	2026/10/18	(要約) 9667号機の解体方針を再検討し、市民への説明と意見聴取を求める。アスベスト対策や車体の補修費、解体費と保存費を比較し、市民団体の協力や寄付等を活用した保存・活用計画を検証した上で、判断理由を公表してほしい。
17	2026/10/18	(要約) 令和7年度のアスベスト調査について、調査箇所が10か所から7か所に減った経緯や判断理由、委託料の精算について市民への説明を求める。また、9667号機を解体せず活用し、高萩市の発展につながる拠点づくりを提案する。
18	2026/10/18	(要約) 9667号機は歴史的価値の高い貴重な鉄道遺産であり、解体方針の再考を求める。アスベスト処理や補修、運搬費を引取先が負担する条件で譲渡先を公募し、保存活動に携わる専門家の意見も踏まえ、保存継続を検討してほしい。
19	2026/10/18	(要約) 蒸気機関車9667号機は高萩市の産業遺産・ランドマークであり、観光資源としての活用可能性もあるため、解体に反対する。維持管理を怠った末の解体は安易であり、他の公共事業との費用対効果を比較し、市民の税金の使い道として慎重に判断すべきである。